

真夏の祭典近づく

ジュニアサマーフェスティバル

8月23、24、25日
神戸球技場

毎年恒例のジュニア・サマー・フェスティバルは今年で第10回目を迎え、8月23日から3日間、神戸中央球技場を中心に西日本から32チームが参加して行われる。この大会は、チームの選手構成を年齢別とする特異な運営で全国から高く評価され、夏に神戸に来ることを最大の目標とするチームが各地に増えてきた。

ボールとともに夢を追う

この交歓会は社団法人神戸フットボールクラブが主催して、サッカー協会の援助で毎年この時期に神戸で行われるもので、西日本各地から約600人の少年たちが集まってくる。少年たちはワールドユースの行われた日本一の芝生の上でプレーできることを一年中で最も楽しみにしており、夢も大きくふくらんでいる。

主催者の神戸FC（会長河本春男）はすでにニュースでもおなじみの会員制のサッカークラブで、幼児からベテランまで男女約800人がボールをけている。

このクラブ設立の目的は会員相互の親ばく、サッカー活動にとどまらず「サッカーの普及と振興」もまたその目的とされ、今年12月で10周年を迎える。この交歓会もその事業の一つで、西日本の社会体育クラブを育成する場としては欠かせないものとなってきた。

参加チームは全国で常にトップクラスを維持している静岡県内の各市選抜チームや小学生中学生、あるいは高校生というように少なくとも6、7年間は一貫指導態勢のとれるクラブチームが主で、各部とも好試合が期待できる。過去9回の大会から有望選手も数多く出ており、身近な場所で行われているサマー・フェスティバル。サッカー狂いなら1日は会場に足を運び、さまざまな人とサッカー談議に花を咲かせるのも一興かと思われる。

組 み 合 わ せ

8月	神戸市立中央球技場		
	メイングラウンド	サブグラウンド	少年サッカー場
23日(土)	小6C 西日本-高松 11:10	中3A 神戸-枚方 11:20	小5F 神戸-交野 11:20
	小6D 神戸-城内 12:00	中1 神戸-清水 13:40	小5F 大河-浜松 13:40
	小6C 藤枝-交野 13:40	中1 交野-若松 14:40	小4 神戸-藤枝 14:30
	小6D 上野-熊本 14:30	中3B 交野-上野 15:40	小4 清水-四日市 15:20
24日(日)		中3A 神戸-高槻 16:50	小5E 清水-四日市 16:10
		中3A 大河-城内 18:00	小5E 高槻-若松 17:00
	中1 神戸-交野 10:30	小6C 高松-交野 9:00	小5E 清水-高槻 9:00
	中1 清水-若松 12:00	小6C 西日本-藤枝 9:50	小5E 若松-四日市 9:50
25日(月)		小6D 熊本-城内 10:40	小5F 神戸-大河 10:40
		中3B 神戸-上野 11:30	小5F 交野-浜松 11:30
		中3B 高槻-上野 12:20	小4 清水-藤枝 12:20
		中3C 高松-藤枝 13:30	小4 神戸-四日市 13:10
		小6C 高松-藤枝 14:40	小5E 高槻-四日市 14:00
		小6C 西日本-交野 15:30	小5E 清水-若松 14:50
		小6D 上野-熊本 16:20	小5E 大河-交野 15:40
		小6D 神戸-熊本 17:10	小5F 神戸-浜松 16:30
		中1 神戸-若松 8:30	小5 7、8位決定戦 8:30
		中1 交野-清水 9:30	小5 5、6位決定戦 9:20
		中3A 枚方-城内 10:30	小4 神戸-清水 10:10
		中3A 神戸-大河 11:40	小4 藤枝-四日市 11:00
		小6 3、4位決定戦 12:50	小5 1、2位決定戦 11:50
			小5 3、4位決定戦 12:40
		三菱重工グラウンド	
		小6 7、8位決定戦 10:00	
		小6 5、6位決定戦 11:00	

関正スポーツ

東灘区住吉宮町4丁目6-13 ☎078(821)8449
国鉄住吉駅南側西へ20m

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がる100m東側

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
パンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ、トアロード店 ☎078(391)0896
神戸・新開地店 ☎078(575)7688

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

オウビ

暮合区琴緒町4丁目7 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸理学院専門学校前(田上ビル1階)

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

生田区三宮町3-2 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

スポーツワールド33

生田区三宮町2丁目1 ☎078(332)7332

マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目4-6 ☎078(841)8811
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側



【参加チーム】

I 中学2、3年の部

Aグループ：枚方FC、広島大河FC、静岡城内FC、神戸FCジュニアA

Bグループ：交野FC、伊賀上野FC、高槻FC、神戸FCジュニアB

II 中学1年の部：清水選抜、交野FC、若松、神戸FCジュニアC

III 小6年の部

Cグループ：西日本選抜、高松、藤枝選抜、交野FC

Dグループ：静岡城内FC、伊賀上野FC、熱本選抜、神戸FCボーイズA

IV 小5年の部

Eグループ：清水選抜、四日市選抜、高槻FC、若松

Fグループ：交野FC、広島大河FC、浜松選抜、神戸FCボーイズB

V 小4年の部：藤枝選抜、清水選抜、四日市選抜、神戸FCボーイズC



個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒657 神戸市暮合区八幡通2-5磯上公園
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



神戸のサッカー



第20回神戸市中学校総合体育大会兼第24回兵庫県中学校総合体育大会市予選は、7月21日から、24日迄の4日間、磯上球技場他、3会場で、29校が参加して、28試合が行われ、六甲中学が、決勝で高倉中学を下し、念願の総体初優勝を果たして、大会4日間の幕を閉じた。

大会前の予想で、優勝候補のトップに推されていた六甲中学が見事に優勝し、順当な様に見えるが今回も波乱の多い大会であった。

1回戦シードの六甲中学は、2回戦で新星星和台中学を11対0で下したものの、3回戦では、神大附吉中学に苦戦をしいられ、1対0と辛勝、勝負に対する甘さが見られた。準決勝は、久しぶりに上位に食い込んできた上野中学を3対0と軽く一蹴して、市民大会覇者としての貫録を見せた。一方高倉中学は、1回戦王塚台中学を1対0で破り、2回戦では、新人戦優勝の本庄中学に2対0と快勝して、これまで須磨区大会で負けていた太田中学を3対0と下し、準決勝では、名門復活を目差す鷹匠中学を3対1と倒しての決勝進出であった。

神戸市新人戦3位、市民大会3位と着実に力をつけてきた福田中学が、2回戦で、PKの末灘中に負けるという波乱が起こった。又灘中学は、1、2回戦PK勝ち、3回戦対上野中学でもPK合戦となり、3度目の正直ならず破れてしまった。決勝戦は、総体初優勝を狙う六甲中学と、久しく優勝から遠ざかり、巻き返しを狙う高倉中学との間で行われた。両チームとも前半やや堅さはあったが、連戦の疲れも見せずスピーディにゲームをすすめた。

六甲中学は、CF木下が、FW陣を良くまとめ、HB山本がゲームを組立て、ドリブル長短のパスをおりませ多彩に攻め、バックは、スイーパー河合を中心によくディフェンスしていた。一方高倉中学は、個人技に優れ、パスを短かく継いで戦うも、泥んこのグラウンド

では、今一つ精彩を欠き、六甲中陣内をおびやかすも、ゴール前の工夫がなくて、六甲中学のディフェンス陣をくずすには至らなかった。結局、攻守にすばらしい能力をもっている山本のいる六甲中学校が4対1で高倉中学校を破り念願の総体初優勝を飾った。

本大会は、従来多かった大差のゲームが少

なくレベル差は縮小されているかのように見られるが、例年などの優秀な人材が少なく低レベルでの熱戦であったように感じられる。

このような試合内容であれば、サッカー王国兵庫、神戸の再現はまだ先のように思われるので、私をも含めて中学校の指導者のより一層の努力をお願いしたいものである。

(山名)

試 合 結 果

六甲	11	1	4	7	鷹匠
塩屋	3			PK 3	須佐野
星和台	4	0		2	湊川
玉津	5		3	2	鈴蘭台
滝川		1		2	歌敷山
布引		0	0	5	山田
神大附	6	4		2	友が丘
竜が台	0		4	1	太田
上野	10	0		2	本山
垂水		1	PK	1	魚崎
丸山	2		4	1	御影
有馬	1	PK 1		0	高倉
灘	1	3	PK 4	0	王塚台
垂水東	0		3	0	本庄
福田	1				

全国高校選手権大会 兵庫県予選の試合型式が改正

神戸地区は 8 月下旬から始まる

全国高校選手権大会兵庫県大会の試合形式が改められた。

兵庫県高体連サッカー部は55年度全国高校選手権大会兵庫県予選の方式を県下一斉のトーナメント方式から、地区予選と中央大会の方式に改めることを決定し、神戸地区では8月下旬から予選を実施する。

新しい方式は、中央大会を24チームによるトーナメント、リーグ戦併用方式で行うのだが、24チーム中、4チームは6月の総体のベスト4に入賞した4校が本部推薦とし今年には御影工、須磨、社、伊丹北が決定している。

地区予選は総体でベスト8入賞校が所属する地区への追加配分の4校を含めると阪神6(2) 神戸4(1) 西播4(1) 東播3、丹有、但馬、淡路各1、の20校(4)〔() 内の数は追加配分の数〕

これら24チームが8ブロックに分かれて1回戦2回戦をトーナメントで行ないベスト8を決め、これら8チームが2グループに分れて総当たりリーグ戦を行ない両グループの1位によって代表決定戦を行なう。

今回大会の方式が改められた理由は2つ上げられる。

一つは参加校が130校を越える大規模な大会が日程的に見て11月初めから11月15日までの2週間では消化しきれないと言った運営上の問題である。(昨年までは最終日が11月23日までだった。)

もう一つは参加校の増加に伴って試合内容が充実するはずなのに、参加校の一部に2年生以下の新チームで出場するチームがあり、それが半数近くもあり、強いチームと弱いチームとの差のあるゲームがしばしば見られた。

試合数が多くても決して兵庫県の高校のレベルアップにならないとの反省に立ってレベルのそろったチーム同志のぶつかり合いを期待して、地区予選制とリーグ戦方式の採用に踏み切ったものである。

地区予選は今年は10月上旬までに各地区で定められたチーム数を選出し組合せは10月中旬に決定する。

兵庫県下の高校サッカーも今年三月の近畿高校選手権大会で5チームとも一勝もできない惨めな結果を反省し、何とか強いチームに育つように、と指導者が意欲的になっており、今回の改革もその線にそっての改善と考える。

今後レベルの高いチーム同志の厳しいゲームの連続により一層高いサッカーが展開されることが期待される。

壮年イレブン完勝

— 五大都市体育大会市民スポーツの部 —

6月号で紹介しました五大都市体育大会に参加した壮年イレブンの奮戦ぶりをご報告します。前日は深夜迄におよぶ作戦会議(?)を開いての戦いのため、実戦への影響が心配されましたが、そこは強者揃い、見事、

第1戦 神戸3 $\begin{pmatrix} 2 & 0 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}$ 0 大阪
第2戦 神戸5 $\begin{pmatrix} 2 & 0 \\ 3 & 0 \end{pmatrix}$ 2 横浜B

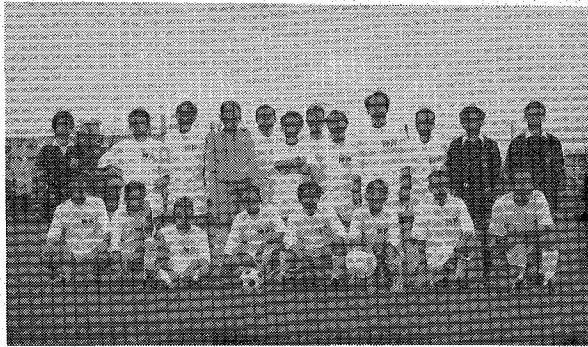
と完勝し、往年の神戸の強さをまざまざと見せつけました。第1戦の対大阪戦は必勝を期して挑ませいか、相手を最初から飲んでかなりほとんど相手陣でのゲームで得意のパスワークもさえわたり完璧な試合でした。

対横浜戦は前半早々に2点を取り余裕綽々と思いきや、若手GK投入が裏目と出、3分程の間に2点を連取され守備陣が乱れかけま

した。しかし超ベテランを配した攻撃陣がすぐさま相手の出鼻をくじくカウンターパンチで得点を上げゲームを建直し以後はペースを取戻し、着々と得点を重ね圧勝しました。

当日はむし暑い中での試合でしたが随所に好プレーが見られ、応援に来てた一般の代表選手が驚き感心する場面もしばしばでした。

最後に各都市の参加者が来年はポートピア見学を兼ねての再戦申し入れがあり、リターンマッチを約して全員元氣一杯帰神しました。



壮年イレブン代表

あと一步のつめが甘い

— 五大都市体育大会一般の部 —

本来なら神戸市で開催される五大都市体育大会は、ポートピア81の関係で横浜市で開催された。

選手選考にあたり7月6日県リーグ、神戸市リーグの優秀選手の連合チーム対関西社会人リーグの優秀選手の連合チームの選考試合を実施したが下位を低迷しているけれども関西社会人リーグのチーム力は数段上で県リーグチームの力量不足を痛感した。

本大会は、10年前神戸で実施した通り運営は、第1日目からナイター試合で消化することと選手の体力消耗が比較的楽で好評であった。

1回戦は対大阪市、前半立ち上がりから大阪市はボールの寄りの早さと積極的な攻撃で一方的に攻め15分すぎから3点連続ゴールし優位にたった。20分すぎまでパスもつなげず消極的なゲーム運びをしていた神戸は25分すぎやっとパスがつながり始め、前半終了間際岡中のシュートのこぼれ玉を関根がブッシュして1点。

ハーフタイムにはっぱをかけて後半に望み5分北川が相手バックスと激しくせり合うと相手バックスの自殺点で2点目。相手バックスのミスの勢いには神戸市は20分、左サイドから北川が切り込んでGKの逆をついたシュートで3点目、残り25分あったが決定力に欠き引き分けた。引き分けの場合PK戦の予定であったが照明が切れてしまい話し合いの結果抽選と決まり神戸市はクジ運をものにした。

準決勝は対京都市。昨日の試合の反省から最初からとばしていくことやリスタートに集中することに注意して試合開始。前半京都が中

盤をやや優利にゲームを展開したが、決定力に欠けノーゴール、一方神戸は、パスのつながりに変化がなく中盤の組立に苦労していた。ハーフタイムでは、ダイレクトパスで相手のプレッシャーをかわすように指示、後半は早い球出しとダイレクトパスで完全に中盤を支配し激しく攻撃するが最終ラインを突破することができずノーゴール。京都も後半中盤を苦労しながらもオープンからの速攻でチャンスをつかんだが決め手を欠きノーゴール。PK戦の一番関根がパーをたたき万事休す。PK戦4-2で破れ去った。

神戸市代表の今後の課題としては、①プレッシャーの強い場合の展開力、②最終ライン突破の工夫と意欲、③FW、HBのディフェンス力、④ゲーム中の集中力といったところだろう。

8月3日の国体一般の部の近畿予選もほぼ同メンバーで戦う予定なので以上の課題を克服する必要がある。同メンバーは次の通り。

GK 福山嘉夫(兵庫教員) 松岡泰典(三菱神戸)

DF 市川雄一(兵庫教員) 八木重光(同) 水野 修(同) 西田正雄(大日本電線) 桑田瑞夫(三菱神戸)

MF 菊岡良之(兵庫教員) 永浜和紀(同) 前田正司(三菱神戸) 岡中正安(同)

FW 山田仁彦(兵庫教員) 関根繁(同) 北川雅史(大日本電線) 大和徹(三菱神戸) 古賀正剛(同) 大野真一(神戸市役所)

〔試合結果〕
1回戦 対大阪市3 $\begin{pmatrix} 1 & 3 \\ 0 & 0 \end{pmatrix}$ 3 抽選勝ち
準決勝 対京都市0 $\begin{pmatrix} 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{pmatrix}$ 0
PK戦 2-4 PK負け

ミニサッカー 大会に参加しよう

若人の祭典は4年前から県内の各青少年団体が相集い、日頃の青少年活動を発表するなかで、お互いの連帯を強め、友愛を確かめよう楽しいお祭りです。それによって、21世紀の担い手として新しいふるさとづくりを進めるとともに、県民に青少年活動を理解してもらうことを願っています。

若人の祭典の主催者である兵庫県青少年本部の構成団体33の1つである社団法人神戸フットボールクラブは、若人の祭典の第1回からミニサッカーを主管していますが、第5回を迎える今年の祭典から盛大に行うこととしています。下記要項でとり行いますので奮ってご参加下さい。

記

と き：9月23日(祭)11時～13時30分(集合11時) ところ：播磨中央公園球技場

参加資格：1. 小学3年生以上で編成した10人以内のチーム

2. 20歳以上の指導者が付添ってこれるチーム

3. 男女別々に編成したチーム

組合せ：選手の最年長者をもって組分けする〔男子〕〔女子〕

A一般 高一以上(16歳以上) E一般 16歳以上
B中学 中3以下 F中学 中学生
C小6 小6以下 G小学 小学生
D小4 小4、3

表彰：優勝チームには記念品を贈り表彰する

参加費：無料

申込：8月31日までにハガキにチーム名、指導者氏名、生年月日、住所、電話、組別、選手氏名、学校名、学年又は勤務先、年令、を書いて下記あて申込のこと。

〒657 神戸市灘区上野通6丁目3-12 神戸フットボールクラブ「若人の祭典係」

お問い合わせは電話 078-861-3100へ。

老いてますます盛ん

— 西日本OB連盟ベテランズ上海遠征後報 —

去る4月末西日本OB連盟ベテランズチームが上海遠征して、日中友好の実を果たして帰って来たことは、既報(6月号)の通りでその後その中国チーム選手で、ベルリンオリンピック選手の孫錦順氏より、日本チームの監督と選手で同じくベルリンオリンピック選手の西邑昌一氏宛に最近届いた書簡の一部を紹介致します。

親愛なる西邑昌一君、神戸フットボールの連中と何かにつけて愉快に過した上海を去ってから、長い時間がたちますが、特に貴君のフットボールのキャリアが、思い出されます(ちよっとお世辞?) 神戸FCの上海訪問は中国フットボール連中に、一大センセーションを巻き起し、又両都市のサッカーマンの間に、より一層の関係と相互理解を樹立しました。そして今回限りでなく、近い将来に、上海、神戸間の往来ばかりでなく、日本の他の都市からも訪問を望むものであります。私達上海ベテランフットボールチームは、丁度武漢市(地名)招待サッカーから、帰ったばかりで、プレイの連続で、2回勝って1回負けました。(年寄チームが各都市で交流している様です)

最近の新しいニュースでは、広東招待国際フットボール大会で、西独ユースチームが優

勝、次が中国、ルーマニア、メキシコ、広東、日本、香港の順序でした。香港は私の生れた所で、過去20回の極東オリンピック大会に9回連続して、チャンピオンになりましたが、現在は色々のコンペティションにも1点も入ることが出来ない有様です。日本は6位であります。昨日のテレビでの日本対香港の試合では日本の力は香港より数段上で、特にキャプテンはうまく、チームをリードして、香港の攻撃の裏をかく様なプレイ振りであったが、ただ私が思うには日本チームは経験が浅い様で、攻撃が単純で、ゴール前に於けるシュートが悪い。将来この二点を修正すれば、明るいより良いサッカーが出来るのではないかと思います。最後にあなたの健康と幸福を希望し併せて屢々近況を望んでいます。

孫錦順より

手紙をもらった西邑さんは「ベルリンオリンピック大会では、組合せの関係で、中国と日本とは対戦の機会なく、中国は英国に2対



ベルリン3人組(向って左から孫、西邑、賈氏)

0で敗れましたが、日本は優勝候補のスウェーデンを3対2で敗り、2回戦に進みイタリアに敗れました。今回の上海元老チームとの試合で、74才の孫錦順氏の試合振りは見事なもので、CFとしての動き、ポジションの取り方、パスの出し方等は往年のオリンピック選手の片鱗を伺わせるに充分で、私も74才の年まで練習に練習を重ねて、孫錦順氏の様なプレイをしたいものと思っています。」と老いてますますさかんという気迫で話してくれました。

兄弟チーム強し

— 県リーグ前期を終えて —

1 位 神戸FC1970

2 位 神戸FCユース

55年度兵庫サッカーリーグは4月6日よりスタートし7月20日をもって終了した。本年度は古河金属、マックエルブに替り神戸FCユース、明倫クラブが新加入し共に上位に喰込んだことと長年のクラブ努力が蓄積されやうと実った感じの神戸FC1970の首位は特筆すべきであろう。神戸市の各チームを探訪してみると、

神戸FC1970

昨年頃より練習量及び参加メンバーが徐々に増加しメンバーの目的意識と競争心が急速に向上した。現在では週3回の練習を行っている、又外人選手ブラニウ(エチオピア)の加入によりオフエンシブハーフとして安定した戦術が組める様になり得点にも継がる事が多くなった。以上の様なことが首位につながったと思われる、夏場に合宿を行い、関西トーナメントでは実力的には不安があるが精神的な面では勝ちたいと思い、後期リーグに望み1位となる様努力をし初のチャンスを狙いたい。

昭和55年度 兵庫サッカーリーグ 前期成績

順位	チーム名	神戸FC1970	神戸FCユース	西淡FC	明倫ク	日触姫路	三木FC	川重発本	ユニオンロマンチカ
1	神戸FC1970		1-0	4-2	1-0	3-1	2-0	3-1	1-0
2	神戸FCユース	0-1		1-1	2-1	2-0	4-0	0-0	5-1
3	西淡FC	2-4	1-1		1-2	2-0	1-0	2-0	3-2
4	明倫ク	1-0	1-2	2-1		0-1	1-2	2-2	3-0
5	日触姫路	1-3	0-2	0-2	1-0		2-2	2-1	0-1
6	三木FC	0-2	0-4	0-1	2-1	2-2		1-2	2-1
7	川重発本	1-3	0-0	0-2	2-2	1-2	2-1		1-2
8	ユニオン	0-1	1-5	2-3	0-3	1-0	1-2	2-1	

— がんばるオヤジの

ヨタヨタサッカー —

球けりよりその後の乾杯が楽しみ、そんなレクリエーションに桜の宮ゲンリョーズなど市少年リーグ参加の選手父兄や指導者を中心に構成した8チームが集い6月8日から7月20日まで磯上球技場の夜間照明を利用して楽しい汗を流した。2年目の今年はコーチャーズとガラクターズが新参者で合計8チームとなり4チームづつ2ブロックに分けて予選リーグを行った。結果はKFCサンダースが予選を通じ5勝1分けの好成績で2年連続優勝を飾った。

決勝リーグでは各チームともメンバー集めに苦労したが、そのなかで比較的メンバーがそろったKFCサンダースが着実に勝点をのばし、3戦全勝で栄光に輝いた。

6月19日(土)金剛山にて表彰式を行い、約70人が出席。ヨタヨタサッカーを談じ、少年サッカー育成論をぶちあげ、親ぼくムードあふれるなか2回目の大会も成功のうちに夜がふけていった。(黒田)

◇予選リーグ

(Aブロック)

1位 KFCサンダース	2勝1分
2位 コーチャーズ	2勝1分
3位 桜の宮ゲンリョーズ	1分2敗
4位 ひよどり台	1分2敗

(Bブロック)

1位 ガラクターズ	2勝1敗
2位 多井畑	2勝1敗
3位 高倉台	2勝1敗
4位 丸山	3敗

◇決勝リーグ

1位 KFCサンダース	3勝
2位 コーチャーズ	1勝1分1敗
3位 ガラクターズ	2分1敗
4位 多井畑	1分2敗

◇下位リーグ

5位 桜の宮	1勝1分
6位 高倉台	1勝1分
7位 ひよどり台	1勝1敗
8位 丸山	2敗